令和5年度　指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

観光ブランド課

1　施設の概要等

施設名	府中市地域交流センター	
所在地	府中市府中町559番地2	
設置目的	中心市街地において、市民等の交流の場となる空間を提供することにより、賑わいを創出し、もって中心市街地の活性化を目的とする	
施設・設備	北館（観光センター、公衆トイレ）、南館（店舗、共用区画、客用トイレ等）	
指定管理者	R6.4.1　～　R11.3.31	一般社団法人府中市観光協会

2　施設利用状況

	年度	目標値［事業計画］	入場者数	対前年度増減	対目標値増減（達成率）	
利用状況	R4	30,000 人	31,069 人	944 人	1,069 人	103.6 %
	R5	31,500 人	43,216 人	12,147 人	11,716 人	137.2 %
	R6	人	人	人	人	%
	R7	人	人	人	人	%
	R8	人	人	人	人	%
増減理由	コロナ感染症が第5類に移行されて、人の流れがコロナ前に戻りつつ有る事とマンホールカード配布、イベントが通常開催されたことなどが前年度よりの増加理由と考えられる。					

3　利用者ニーズの把握と対応

	【実施方法】	【対象・人数】
調査実施内容	事業報告書の受領（南館）	来館者、電気使用料
	来館者集計（北館）	体験事業、観光案内等
	管理者による点検	管理物件の状況
	【主な意見】	【その対応状況】
	コロナが第5類意向により店舗での飲食が増加している。 また、南館・北館共に観光客の来店が増加している。	南館においてはテナントと協議による対応。北館においては、来館者が安心して利用できるレイアウト等の変更、見やすい観光案内パンフレットの配置に務めた。
	設置備品、什器の経年劣化（南館の鉄板関係）	指定管理者としての対応と併せて市との協議による対応をした。

4　市の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次報告
	日報（必要随時）	○	設備の破損故障等随時

管理運営会議	
1　回　　会場　キテラス北館	

現地調査（実施月）				
1月	2月	3月	4月	5月
			○	
6月	7月	8月	9月	10月
				○
11月	12月			

【特記事項等】
利用状況や不具合修繕状況についての報告・協議を行った。

【指定管理者の意見】
修繕発生時や運営に疑義が生じた都度に会議を実施している。

【市の対応】
常設備品等の破損・修繕などの共有をはかった。

5　市委託料の状況　　（単位：千円）

	年度	金額	対前年度増減		年度	金額	対前年度増減
市委託料（決算額）	R4	643	-	料金収入（決算額）	R4	2,611	84
	R5	643	0		R5	2,855	244
	R6				R6		
	R7				R7		
	R8				R8		

6　管理経費の状況　　（単位：千円）

項目			R3決算額	R4決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入	市委託料	643	643	0	
		料金収入	2,611	2,855	244	コロナの影響による営業日数増
		その他収入	829	970	141	自動販売機手数料（R4から当会計に計上のため皆増）
		計（A）	4,083	4,468	385	
	支出	人件費	0	0	0	
		光熱水費	0	0	0	
		設備等保守点検費	0	0	0	
		清掃・警備費等	0	0	0	
		施設維持修繕費	2,893	2,879	-14	什器、備品の修繕費増加
		事務局費	476	323	-153	事務備品の購入
		その他支出	63	273	210	
		計(B)	3,432	3,475	43	
	収支①(A-B)		651	993	342	
自主事業	収入（C）		0	0	0	
	支出（D）		0	0	0	
	収支②(C-D)		0	0	0	
合計収支（①＋②）			651	993	342	

※1　利用料金制
公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2　自主事業
指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7　管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総　　括	南館の運営にあたっては、府中焼き体験事業の実施。また、メディア等の取材などを積極的に受入れ府中市のソウルフードとしての府中焼きをPRすることで観光誘客の推進ははかった。また、コロナが第5に移行したこともあり観光客の増加、イベントの通常開催が増えたことをチャンスと捉えテナントと連携して新規の客層獲得やニーズの把握につとめ、適切な運営を心掛け、来店者のおもてなしをおこなった。 北館の運営については、公衆トイレの衛生管理、点検業務を行い利用者が常時快適に使用できる状態に管理している。交流スペースのレイアウト変更などをおこない利便性の向上を図り観光案内、体験事業を積極的におこなった。また、来館者との対話による状況把握とそれに伴う交流センターの利用促進、観光PRの改善、推進を行っている。	・清掃が行き届いており、継続的な美化に取組まれたい。 ・日常の施設管理について概ね適切に行われている。 【南館】 ・府中焼きの提供においてもテナントととの連携を密にし、安定した運営ができる状態を維持するなど、日常の施設管理について適切に行われている。 ・令和5年度テナント募集について、周知の期間や方法等について工夫を凝らす必要がある。 【北館】 ・観光客が入りやすい雰囲気づくりや来客応対を引き続き期待したい。 ・市の観光の窓口としての案内業務、レンタサイクルの充実などが適切に実施できている。

8　今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	市
課題と対応	南館でのお好み焼き体験事業の開催については、テナントの通常営業もあり受入れ数の限界がある。北館での体験事業開催時に観光案内を目的とした一般来館者が入りにくい状況が発生している。また、交流センター建物のガラス面にポスター等を貼ることで館内が見えにくい状態になり観光案内所表示は有るものの観光案内所を探されるお客様がいる。お祭り通りに面した施設としての役割を十分把握し、ポスター掲示方法や入りやすい施設運営などを通じて利用促進、交流事業、観光案内業務の推進に努める。施設の状況、状態の把握に努め市との連携をはかり施設の安全な利用推進に取り組む。	・観光案内については、打合せ等の業務で来客応対が疎かにならないようスペースの工夫が必要。 ・引き続き観光客が訪れやすい雰囲気づくりが必要。 ・施設のPRをはじめ、施設を訪れたくなるような自主事業等仕掛けが必要。